

# 血液検査結果の見方

国立病院機構兵庫中央病院 研究検査科

診察室で手渡された検査結果と一緒に見てください。手渡された結果には、下限値と上限値がありますが、検査結果が下限値より低いとき L(低)、上限値を超えたとき H(高)と表示され、それぞれ基準となる値から外れていることを示しています。基準値は正常値ではありません。健康であっても5%の方はこの基準値から外れます。一つの検査結果だけを見て判断するのではなく、全体の検査結果から判断される必要があります。

おもな検査の目的	検査項目名	和名	説明
肝臓機能	AST	GOTともいいます	肝臓や心臓などの臓器に障害があると上昇します
	ALT	GPTともいいます	肝臓や心臓などの臓器に障害があると上昇します
	ALP	アルカリフォスファターゼ	肝臓や胆道、骨の疾患、小児も高値を示します
	γ-GTP		アルコール性肝臓障害に敏感に反応し上昇します
	LDH		肝臓や心臓、血液細胞などに異常があると高くなります
	T-Bil	総ビリルビン	黄疸や肝臓機能障害のときに高くなります
	D-Bil	直接型ビリルビン	〃
	ALB	アルブミン	肝臓で作られるたんぱく質で、栄養状態も反映します
	A/G比	アルブミン・グロブリン比	異常値は通常低下し、肝臓機能、腎臓機能の障害などが分かります。
腎臓機能	BUN	尿素窒素	腎機能が悪くなると高くなります。
	CRE	クレアチニン	
	推算GFR	推算糸球体濾過値	腎機能が低下すると低くなります
痛風	UA	尿酸	高くなると痛風になりやすく、腎臓機能の低下でも高くなります
すい臓機能	AMY	アミラーゼ	すい臓や唾液腺の疾患で上昇します
栄養状態	TP	総蛋白	肝臓や腎臓機能の障害で変動し、栄養状態も反映します
	ALB	アルブミン	肝臓で作られるたんぱく質です、栄養状態も反映します
	A/G比	アルブミン・グロブリン比	異常値は通常低下し、肝臓機能、腎臓機能の障害などが分かります。
糖尿病	GLU	血糖(グルコース)	食事の影響を大きく受けませんが、糖尿病では高くなります
	HbA1c	ヘモグロビンA1c	過去1~2ヶ月間の平均血糖値を反映します
	GA	グリコアルブミン	過去約2週間の平均血糖値を反映します
動脈硬化	T-CHO	総コレステロール	動脈硬化や虚血性心臓疾患の診断、経過観察に有用です
	HDL-C	HDLコレステロール	善玉コレステロールで低値の場合は動脈硬化や虚血性心臓疾患に注意が必要です
	LDL-C	LDLコレステロール	悪玉コレステロールで高値の場合は動脈硬化や虚血性心臓疾患に注意が必要です
	動脈硬化指数(LDL-C÷HDL-C)		2.0以下になるように努めましょう
	TG	中性脂肪	食事の影響を受けませんが、多すぎると動脈硬化の危険因子です
体液のバランス	Na	ナトリウム	腎臓機能や脱水状態など体液中の電解質のバランスをみて、体全体の状態を診断します。
	K	カリウム	
	Cl	クロール	
血清鉄(貧血の検査)	Fe	血清鉄	鉄欠乏性貧血で低下します
	UIBC	不飽和鉄結合能	鉄欠乏性貧血で上昇します
	TIBC	総鉄結合能	血液が鉄を運べる能力で、TIBC=Fe+UIBCです
心臓の検査	BNP		心不全の指標として、心臓の元気度が分かります。心不全のように心臓に負荷がかかる状態になれば増加します。
心臓・筋肉	CPK(CK)		筋肉にある酵素で、高いときは筋肉の細胞が壊れたことを意味します。激しい運動後も高くなります。
炎症(感染など異物によって起こる体の反応)	CRP	C反応性蛋白	炎症があると増えます。健常人は0.3以下です。
	WBC	白血球数	身体に細菌が感染し炎症が起これば増減します。
	PCT	プロカルシトニン	細菌感染症の診断の指標となります
	赤血球沈降速度(血沈 赤沈)		膠原病の経過観察に有用です。生体組織の破壊などで亢進します

甲状腺機能	TSH	甲状腺刺激ホルモン	脳下垂体から分泌される甲状腺を刺激するホルモンです
	FT3	フ リ - T 3	甲状腺ホルモンです、甲状腺ホルモンの全身への作用の程度を調べます
	FT4	フ リ - T 4	甲状腺で作られるホルモンで、甲状腺がホルモンを作る能力を見ている。

腫瘍マーカー	AFP		肝臓など	良性の病気でも高くなることがあります。
	CEA		消化器など	良性の病気でも高くなることがあります。
	CA19-9		胆嚢、胆管、すい臓など	良性の病気でも高くなることがあります。
	PSA		前立腺	良性の病気でも高くなることがあります。

貧血の検査	RBC	赤 血 球 数	数値の低下で貧血の診断ができます、これらの結果から総合的に貧血の原因が推測できます
	Hgb	ヘモグロビン量	
	HCT	ヘマトクリット値	
	MCV	平均赤血球容積	
	MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	
	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	
	網状赤血球		貧血の回復期などに増えます。

止血検査	PLT	血 小 板 数	数が少ないと出血しやすくなります、止血機能をみています
	PT	プロトロンビン時間	血液の凝固能力を見ている。経口抗凝固薬(ワーファリンなど)の治療モニターとして使われる指標です。
	PTINR	プロトロンビン時間標準比	
	PT活性%		

末梢血液像検査 (血液中の白血球を分類しています)	Neut(stab)	好中球 桿状核球	細菌感染などで増えたり減ったりします
	Neut(seg)	好中球 分葉球	〃
	Lymph	リ ン パ 球	ウイルス感染などで増えます
	Mono	単 球	
	Eos	好 酸 球	アレルギーや寄生虫感染で増加します
	Baso	好 塩 基 球	

## 尿検査

尿定性: 尿に含まれる成分を調べています、スクリーニング(ふるいわけ)検査です	SG(比重)		尿の濃縮度がわかります
	PH		尿の酸性・アルカリ度を表します
	蛋白定性		尿中のタンパクの有無、腎機能のスクリーニング検査です
	糖定性		尿中の糖の有無、糖尿病のスクリーニング検査です
	ケトン体		長期の欠食や下痢、糖尿病などで陽性になりやすくなります
	ビリルビン定性		肝臓機能のスクリーニング検査です
	潜血反応		尿路(腎臓、尿管、膀胱)からの出血がわかります
	ウロビリノゲン		肝臓機能のスクリーニング検査です
	亜硝酸塩反応		尿路細菌感染のスクリーニング検査です
白血球反応		尿中の白血球量、尿路感染のスクリーニング検査です	

尿沈渣: 膀胱や腎臓の状態(顕微鏡で尿に含まれる成分をみます)	赤血球		尿の中に含まれる赤血球(血液)数で尿路からの出血がわかります
	白血球		尿の中に含まれる白血球数で、膀胱や腎臓の炎症をみます
	扁平上皮		尿の中に含まれる尿道や表皮の細胞で、多くは採尿時の混入です。
	移行上皮		尿の中に含まれる膀胱や腎臓の細胞です、炎症があれば増えます。
	尿管管上皮		
	硝子円柱		腎臓の状態ををみます。炎症があれば多く見られます。
	顆粒円柱		
	細菌		膀胱炎など尿路細菌感染をみます

糖尿病性腎症	尿中微量アルブミン	糖尿病患者の早期腎症の発見と治療に有用です
--------	-----------	-----------------------

推定食塩摂取量	グラム/1日	外来尿検査で1日の食塩摂取量の概算値がわかります、塩分の取りすぎに注意しましょう
---------	--------	--

# 検査結果用紙の見方《検査詳細情報》

患者ID : 0009*****	採取日時 : 2014/12/15 09:03:34
患者氏名 <b>兵庫花子</b>	オーダー番号 : C
生年月日 : 1933/	オーダー日 : 2014/10/22
年齢 : 81歳3ヶ月	依頼医 :
性別 : 女性	依頼科 : <b>内科</b>
	依頼病棟 :

この欄が、あなたの検査結果です

この検査の基準値です、この場合8~38 がAST検査の基準値です

No	検査項目	結果	下限値	上限値	コメント	コメント2	单位名称
1	総タンパク	7.0	6.7	8.3			g/dL
2	アルブミン	4.0	3.8	5.3			g/dL
3	アルブミン/総タンパク(A/G)比	1.33	1.2	1.8			
4	総ビリルビン	0.5	0.2	1.2			mg/dL
5	AST (GOT)	20	8	38			U/L
6	ALT (GPT)	14	4	44			U/L
7	ALP	170	104	338			U/L
8	γGTP	12 L	16	73			U/L
9	LDH	206	106	211			U/L
10	CPK	103	43	165			U/L
11	中性脂肪	118	50	130			mg/dL
12	HDLコレステロール	49					mg/dL
13	LDLコレステロール	77	58	140			mg/dL
14	動脈硬化指数 (LDL-C/HDL-C)	1.6	0	2			
15	尿酸	20.4 H	8	20			mg/dL
16	クレアチニン	0.75	0.4	0.8			mg/dL
17	推算糸球体濾過値 (eGFR)	56					ml/min
18	尿酸	6.0	2.5	7			mg/dL
19	ナトリウム	144	137	147			mEq/L
20	カリウム	4.1	3.5	5.2			mEq/L
21	クロール	104	98	108			mEq/L
22	カルシウム	9.2	8.8	10.2			mg/dL
23	無機リン	3.6	2.5	4.5			mg/dL
24	アミラーゼ (血中)	104	43	116			U/L
25	乳び	0					
26	溶血	0					
27	黄疸	0					
28	血糖	105	70	110			mg/dL
29	HbA1c (NGSP)	6.2	4.6	6.2			%
30	血球算定検査						
31	白血球数	44	35	90			*10 <sup>2</sup> /μL
32	赤血球数	399	380	480			*10 <sup>4</sup> /μL
33	ヘモグロビン	12.7	12	16			g/dL
34	ヘマトクリット	37.8	34	45			%
35	平均赤血球容積 (MCV)	94.8					fL
36	平均赤血球Hb量 (MCH)	31.8	27	35			pg
37	平均赤血球Hb濃度 (MCHC)	33.6	32	36			g/dL
38	血小板数	17.1	13	35			*10 <sup>4</sup> /μL
39	赤血球容積粒度分布幅 (RDW)	13.8					%
40	血小板分布幅 (PDW)	16.5	12	18			fL
41	平均血小板容積 (MPV)	7.9 L	8	12			fL
42	白血球分類 (機械法)						
43	Neut% (好中球)	59.8					%
44	Lympho% (リンパ球)	28.6					%
45	Mono% (単球)	9.8					%
46	Eosino% (好酸球)	1.5					%
47	Baso% (好塩基球)	0.3					%

基準値より低いときは L  
基準値より高いときは H  
と表示されます  
なにも表示がないのは  
基準範囲内です

お分かりにならないところがあればお尋ねください